

素材の機能と美を自在に活かす
建築家が創るHOPデザイン

“スタイリッシュ”を体現する家 M邸

究極の美とは何か。日本の文化において、究めるとはそぎ落とすことではないだろうか。シンプルで無駄がないからこそ、無限をはらむことが出来る。そういう家では、人々はそこに自らの心の世界をゆったりと広げることが出来る。シンプルとスタイリッシュを究めたHOPの家の新しい姿がここにある。

撮影/木田 勝久

天井高3.2mのゆったりとしたリビングと、ダイニングキッチンをゆるやかにつなぐことで空間に変化をもたせている。グレーを基調とした重厚感ある雰囲気の中にも精神性を感じる空間。